

中和構想区域 区域対応方針（案）

令和 7 年 3 月 策定

【1. 構想区域のグランドデザイン】

・これまでから、地域の実情や将来の医療需要の変化に対応した医療提供体制の構築を目指し、重症な救急や高度医療を担う「断らない病院」と、地域包括ケアシステムを支える「面倒見のいい病院」という二つの目指すべき病院像を示し、医療機能の分化・連携を促進してきたところである。

引き続き、データに基づく議論を進め、地域のニーズに合わせた、より適切な医療の提供を目指し、医療機能の分化・連携を図り、高度急性期・急性期医療から在宅医療までの一連のサービスを地域において総合的に確保できる体制の実現を図っていく。

【2. 現状と課題】

① 構想区域の現状及び課題（課題が生じている背景等を記載）

【現状】

・奈良県地域医療構想における「2025年の機能別の必要病床数」に向けた「量の検討」（病床削減や機能転換等）は概ねクリアし、質の向上に向けた取組へ注力していくことで合意した。

【課題】

・今後は、高齢者救急の増加が見込まれている中で、県民が増悪時にも安心して医療が受けられる体制づくりを構築していく必要がある。

② 構想区域の年度目標（医政地発0331第1号令和5年3月31日付厚生労働省医政局地域医療計画課長通知「地域医療構想の進め方について」）

・「2025年に向けた具体的対応方針」を継続して協議していくとともに、医療提供体制上の課題について、病院意見交換会や地域医療構想調整会議で議論していく予定。

③ これまでの地域医療構想の取組について

・病床機能報告と奈良県独自の急性期報告（急性期をさらに「重症」と「軽症」に分けて報告）を重ねて解釈し、「高度急性期」「重症急性期」を担う病院は「断らない病院」として、「軽症急性期」「回復期」「慢性期」を担う病院は「面倒見のいい病院」としての、それぞれの機能強化と病院間の連携強化を支援し、医療機能の分化と連携に取り組んできた。

④ 地域医療構想の進捗状況の検証方法（地域医療構想調整会議の進め方やデータ分析方法等）

・地域医療構想実現に向けた病院意見交換会や地域医療構想調整会議の場において、具体的対応方針の協議を行うとともに、レセプトデータの分析による患者受療動向や課題に対する各種データを示した上で議論を行い、進捗状況等を検証している。

⑤ 地域の医療機関、患者、住民等に対する周知方法（地域医療構想に係る取組内容、進捗状況の検証結果等）

・地域医療構想調整会議の資料・議事録を県ホームページにおいて公開するとともに、希望者には会議の傍聴を可能としている。

・また、県では、各種医療関係団体からの講演要望や県民からの要望があった際には、職員が現地に出向き地域医療構想の取組等の周知を行っている。

⑥各時点の機能別病床数

	2015年 病床数	2023年度 病床機能報告 (A)	2025年の 予定病床数 (B) ※	2025年 病床数の必要量 (C)	差し引き (C) - (A)	差し引き (C) - (B)
高度急性期	別添1のとおり					
重症急性期						
軽症急性期						
回復期						
有床診療所						
慢性期						
休棟等						

※ 病床機能報告における「2025年7月1日時点における病床の整備の予定」として報告された病床数の合計又は各医療機関における対応方針の予定病床数の合計

【3. 今後の対応方針】 ※2を踏まえた具体的な方針について記載

① 構想区域における対応方針

・高齢者救急の増加が見込まれている中で、県民が増悪時にも安心して医療が受けられる体制づくりを構築していくために、各病院での受入体制強化や、関係機関間の連携強化を図っていく。

② 「①構想区域における対応方針」を達成するための取組

・患者の重症度に応じた、搬送における「断らない病院」と「面倒見のいい病院」の役割分担に関する課題解決について、継続して議論していく。
 ・病院のマネジメント向上に向けた取組等の情報共有を図り、限られた医療資源の効率的な活用を促していく。
 ・病院間だけでなく、消防機関等も含め、地域一体となって課題に取り組める体制づくりを構築していく。

③ 必要量との乖離に対する取組

・奈良県地域医療構想における「2025年の機能別の必要病床数」に向けた「量の検討」（病床削減や機能転換等）は概ねクリアし、質の向上に向けた取組へ注力していくことで合意したことから、量の乖離に対する取組には注力しない。
 ・全体的な取組については「4. 具体的な計画」に記載のとおり。

④ 3. ②及び③による取組の結果、想定される2025年の予定病床数

	2025年の 予定病床数 (R7.2時点)
高度急性期	別添1のとおり
急性期	
回復期	
慢性期	

【4. 具体的な計画】 ※【3. 今後の対応方針】を踏まえた具体的な工程等について記載

	取組内容	到達目標
2024年度	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能再編を検討する病院に対し、地域医療構想に沿った機能再編案や将来収支シミュレーションの提示等、コンサルティング支援を実施 ・病院間連携の強化を目指す病院に対し、実行可能な連携方法具体案の提示や、対象病院同士の協議の場の設定等コンサルティング支援を実施 ・病院が自主的に取り組む介護施設への転換、地域包括ケア病床の整備等にかかる費用の補助や給付金の支給（各種条件あり）を実施 <p>【令和6年11月】</p> <p><取組> 地域医療構想実現に向けた医療機能再編等に係る研修会の開催し、県から事例紹介等を実施</p> <p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の取組と国の状況について ・地域医療構想に関するデータ分析 ・高齢者への医療提供に関する機能強化（他府県事例紹介） <p>【令和7年2月】</p> <p><取組> 地域医療構想実現に向けた病院意見交換会を開催し、現状の課題について意見交換を実施</p> <p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の取組と国の状況について ・地域医療構想に関するデータ分析 ・地域医療支援病院の承認 <p>ほか</p> <p>【令和7年3月】<案></p> <p><取組> 地域医療構想調整会議を開催し、地域の関係者間で、現状の課題等について議論</p> <p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の取組と国の状況について ・地域医療構想に関するデータ分析 ・地域医療支援病院の承認 <p>ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院意見交換会や地域医療構想調整会議を通じて、今後の地域の医療提供体制上の課題を抽出し、今後の方針等について関係者間で共有を図る。

<p>2025年度 【予定】</p>	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能再編を検討する病院に対し、地域医療構想に沿った機能再編案や将来収支シミュレーションの提示等、コンサルティング支援を実施 ・地域の医療機関間の連携の強化を目指すため、実行可能な連携方法具体案の提示や、地域の関係機関同士の協議の場の設定等コンサルティング支援を実施 ・病院が自主的に取り組む介護施設への転換、地域包括ケア病床の整備等にかかる費用の補助や給付金の支給（各種条件あり）を実施 <p>※支援内容については、2024年度の議論の結果を適宜反映</p> <p>【令和7年11月】 <取組> 現地域医療構想の総括と次期地域医療構想（高齢者救急含む）を見据えた研修会の開催</p> <p>【令和8年2月】 <取組> 現地域医療構想の総括と次期地域医療構想（高齢者救急含む）を見据えた病院意見交換会の開催</p> <p>【令和8年3月】<案> <取組> 現地域医療構想の総括と次期地域医療構想（高齢者救急含む）を見据えた地域医療構想調整会議の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度での病院意見交換会や地域医療構想調整会議の議論の結果を踏まえ、コンサルティング支援等の導入を視野に入れながら、医療提供体制上の課題解決の実現に繋げる。
------------------------	--	---

<中和医療圏>

